令和８年度　第１回　紫波町男女共同参画推進委員会　会議録（発言要点記録）

日　時　　令和８年６月１８日（木）13 時 00 分～14 時 15 分
会　場　　紫波町役場　会議室 201
出席者　　委　員　阿部牧子、内城寛子、小野昭夫、工藤逸奎、佐々木知也（代理：鍵本歩）、伊東裕美、星麻希、山屋理恵、吉田辰巳、渡邊祐子（代理：吉田充子）、渡辺嘉明
（梅澤美香は欠席）※敬称略
事務局　企画課長　山上里香、総合政策係長　金子裕之、主事　池田菜月

全体の進行を金子係長、報告・協議内容の説明は池田主事が行った。

１　開　会

２　委員長あいさつ（内城委員）

この会議は、町の男女共同参画について議論する唯一の会議である。本町が暮らしやすいまちづくりになるためには、こういう議論をすることが重要なので、忌憚ないご意見をいただきたい。

３　報告

（１）令和７年度各課等における男女共同参画推進のための取組状況について

事務局より、取組状況について説明。

阿 部 委 員：特定検診について、個人的に病院で検診を受けた人数も含まれているのか。
事　務　局：担当課に確認して回答する。
小 野 委 員：ワークライフバランスなどは、新聞では見るが、あまりよく分かっていない人も多い。広報紙などで取り上げるといいのではないか。
事　務　局：おっしゃる通り、役場からの広報も大切だと感じている。合わせて、県や男女共同参画センターでセミナーなどもやっているので、周知していきたい。
工 藤 委 員：資料の中で取り組み状況が「-」の事業は今後事業を実施する予定や方向性はあるのか。
事　務　局：「-」は町での取り組みが今はない部分。できる限り取り組みを増やしていきたい。合わせて、各課で報告漏れがないか確認したい。
鍵 本 委 員：配偶者暴力相談支援センターができて 10 年ほど経つが、まだまだ知らない人も多く、周知が今後も必要であると感じた。

伊 藤 委 員：教員のワークライフバランスについては、教育の質を維持しながら、働き方を見直していくことが現在の課題となっている。また、男性教員の育児休業取得率はほぼ100％となっており、女性の社会参画も進んでいるといえる。一方で、管理職については依然として男性が多いのが現状である。ただ、紫波町の副校長会を見ると、小・中学校合わせて８校のうち、女性が７名、男性が１名となっており、少しずつ状況は変わりつつあると感じている。

星　 委　 員：幅広い世代にワークライフバランスや、LGBTQのことをもう少し知ってもらうために、SNSや広報などいろいろな方法を活用して発信していくことが必要かなと思う。

吉田辰巳委員：資料で、「性的マイノリティについて、教職員向けに制度等の周知啓発を行った」とあるが、これは教員だけでなく、生徒にも届ける必要がある。生徒に伝えたのであれば、どう伝えたのかも報告に入れてほしい。

事　 務　 局：担当課に申し伝えておく。

吉田充子委員：いまの時代、こどもたちもスマホを持っていて、いろいろなところから情報を得る時代になっている。小学生のスマホの所持率はどのくらいなのか？

伊 東 委 員：小学校高学年で所持率は6割を超えている。中学生になるとほぼ100に近い状況になっている。学校には持ってこないものというふうな認識になっているが、震災等の影響で心配なので持たせたいというご家庭や、習い事のお迎え関係で持たせたいというご家庭もある。

渡 辺 委 員：人権委員では、学校での人権教室や小学校に花の苗をお配りして、花を植える「人権の花」という活動をしている。

山 屋 委 員：様々な分野でいろんな取り組みをしているのに、残念ながらやってることを知られていない。ぜひ広報に力を入れてもらいたい。プレコンセプションケアは、中学生も小学生も自分の体のこと、異性の体のことなどをちゃんと知っておこうという、大切な取り組み。ぜひ町でも積極的に取り組んでほしい。

内 城 委 員：固定的な性別役割に関する負担をなくすためには、それぞれの性にインセンティブを与えていくという考え方がどうしても必要な場合もあると思う。そこのさじ加減は、町に住んでいる我々の感覚が大事だと思うので、こうやって意見出し合って、進めていきたい。制服について、一中は性差を感じさせない制服が導入されたが、二中三中はどうなのか。住む場所によって、差があるのは望ましくないので、ぜひ早めに対応してほしい。

４　協議

（１）令和８年度男女共同参画ワークショップについて

事務局より、令和８年度男女共同参画ワークショップの概要案について、説明。

阿　部　委　員：昨年参加した感想として、私たちの頃は生徒会長は男性だったが、今は女の子がやっていると中学生から聞いてびっくりした。こういう子どもたちと一緒にワークショップができるのはすごくいいことだと思う。

工　藤　委　員：新規の参加者が、どれだけ多く来てもらえるかっていうところも大事だと思う。ワークショップの参加経験がない方も多いと思うので、雰囲気がわかるように、募集している期間に去年はこういう雰囲気だったよとか、こういうことを具体的にやるよみたいなのが、分かると参加しやすくなると思う。

事　　務　　局：周知方法を工夫していきたい。また、委員の皆さんからも周囲の人に声掛けをしてもらえるとうれしい。

（２）情報交換

・山屋委員より、男女共同参画センターで実施している出前授業やセミナーについてのご案内

５　その他

特になし

６　閉　会

14：15　終了